

勝間田小学校区で意見交換会を開催しました

市教育委員会の諮問機関である「学校再編計画策定委員会」が、令和2年10月30日、勝間田小学校体育館にて、勝間田小学校区の方を対象とした意見交換会を開催しました。

この意見交換会は、学校再編計画策定委員会が、再編に関し、これまで検討してきた考え方を市民に示して意見を聴き、それを踏まえて素案をつくるために開いたものです。

目指す学校像、学校区、学校の場所などについての案と考え方を伝えたあと、市民ファシリテーターの進行により、参加者がグループワークを行い、さまざまな意見を出し合いました。

参加者からは、人口減・少子化が進んでいるため、将来的にも2校で良いのではないかと、という意見が多く聞かれました。また、小中一貫校にすることで多様な人間関係がつかれるのではないかと、今までにない経験ができるのではないかと、という期待の声もありました。

一方で、地域の大切さが忘れられてしまわないかと、という不安の声も上がりました。これについて、コミュニティ・スクールの活動を踏まえながら、「子ども達の郷土愛・地域愛は、地域の方が子ども達の中に入って語る・見せることによって、子ども達は学び、愛着を持つことができる。再編までの10年間で地域と学校とのつながりをどれくらい持てるか、子ども達がいかにそれを実感できるかが大切である」と回答しました。

限られた時間の中ですが、参加者からたくさんの意見をいただくことができました。当日、時間の関係で回答ができなかったものも含め、質問への回答については、9小学校区の意見交換会の質問をまとめてホームページで公開していきます。



意見・質問等をふせんに書いたあと、グループでの話し合いが始まります



質問に答える委員長



積極的な意見交換がされています